

住みよいまちをつくる

定 住

住みたいふるさと もとみや創生

本宮市の魅力はなんでしょう。一つは交通の利便性。南北には、国道4号、東北自動車道が走り、東西にはいわきから新潟までを結ぶ磐越自動車道が通っています。そうした利便性からインターチェンジ周辺をはじめ多くの企業が立地していて、雇用を生んでいます。また、コンパクトなまちの中に生活に必要なものがそろっているのも魅力です。そして、子育ての面では、保育料の助成や屋内屋外の遊び場、放課後児童クラブなど安心して子どもを育てる環境もそろっています。

県内では震災以降人口が減っている中、本宮市は、こうした魅力をさらに市外に発信し、また、より良い新しいもとみやを創生していくことで、定住人口増を目指していきます。

住宅・仕事・子育てへの取り組み

「家を建てられるか」、「子育てする環境は整っているか」、「仕事はあるか」。これらは住む場所を決める上で重要な要素です。

市では今年度も引き続き、本宮に家を建てたいと思えるよう市内にマイ

ホームを新たに取得した人には、最大30万円の奨励金を支給していきます。

また、市の交通アクセスの良さをPRし、進出企業を増やすことで雇用の場の確保につなげていきます。

そして、子育て世代を応援するため、18歳以下の子どもに対する「医療費の無料化」。働く世帯を支援する「延長保育」や「預かり保育」、「放課後児童クラブ」を引き続き行っています。

加えて、子どもの遊び場の利活用にも力を入れていきます。現在、乳幼児が木のぬくもりを感じ、安全に遊べる「えぼか」や「みずいろ公園」、自然を生かし、体を動かし自由な遊びが楽しめる「プリンス・ウィリアムズ・パーク」があります。

そして今年秋には「(仮称)屋内運動施設」がオープンします。この施設は、フットサルコートを全面人工芝で整備し、野球やソフトボールの屋内練習にも使用できるほか、高齢者や障がい者の皆さん、保育所などの子どもたちも利用できる施設になります。

この大きく3つの健康づくり拠点施設を「元気もとみやトライアングル」として活用し、幼児期から大人まで継続して体を動かす機会を提供していきます。

『本宮で暮らす』





本宮市まち・ひと・しごと
創生有識者会議 委員
石橋 昭子さん

アクセスの良さ 子育てのしやすさの発信を

本宮市はアクセスが良く、生活に必要なものがコンパクトにまとまっているため、市外の人から「住みたい」という声を多く聞いています。また、地域で子どもを育てる取り組みがあり、お母さん同士が交流できる場も多く、子育てで孤立しないような環境もしっかりしています。

定住促進は、そうしたまちの魅力をしっかり発信していくことが大切ではないでしょうか。

長所を生かした連携のまちづくりを

本宮市まち・ひと・しごと創生有識者会議では、さまざまな立場の人が集まり、意見を出し合いました。本宮に住んでいる人がそれぞれの長所を生かし、連携していくことがよりよいまちづくりにつながると思います。

INTERVIEW

ポータルサイトと映像を使ったPR

市の住みよさや魅力を広く発信するため、今年2月に「移住・定住ポータルサイト」を開設しました。サイトでは、「住まい」や「仕事・創業」、「子育て・教育・福祉」など、市外の人ばかりでなく市内の人にも役立つ情報が、ニーズに合わせて得られ、本宮市に移住してきた人の感想や経験談も掲載します。

また、本宮の魅力を市外の人にPRするための映像を制作しました。この



移住・定住ポータルサイトトップ画面
<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/teijyu/>



移住・定住ポータル
サイト QR コード

INTERVIEW



渡辺 俊之さん

地域のネットワークで婚活支援を

私は洋服店を営んでいますが、地元の自営業者のお嫁さん不足が深刻です。私自身も商工会青年部の二員として婚活パーティを企画したり、仲を取り持ちたりしたこともありました。

そうした中で、世話をやいてくれる人のネットワークができれば、もっと結婚までつながる支援ができるのではないかと思います。

出会いづくりのサポートはなかなか一筋縄ではいかないのですが、継続してやっていくことが大切じゃないでしょうか。

婚活支援のための取り組み

全国的な人口減少の要因の一つに未婚者が増えていることがあげられます。市では、結婚をしたくても出会いの場がない、機会がない人に対して、結婚に対する意識を築き、自らの魅力を高め、良いパートナーに巡り会えるよう、出会いづくりのサポートをしていきます。ふくしま結婚・子育て応援センターや結婚・子育てなどを支援するボランティアの「世話やき人」の皆さんと連携し、コミュニケーション力をも高めるセミナーや身だしなみ講座、出会いの機会の提供などを行っています。

世話やき人とは…?

結婚などで助けを必要とする地域の相談者へのお世話やきとして、様々な支援活動をボランティアで行う個人または団体で、相談者へ相手の紹介をすることや出会いのイベント・研修などの情報を提供し、参加を促すなど、結婚へ向けて二人三脚で活動を行います。

※相談者すべてに出会いの機会を保証するものではなく、また、成婚までお世話するものではありません。

世話やき人になるためには、県とふくしま結婚・子育て応援センターが主催する研修会を受講し、世話やき活動について同意をいただいた方々が「世話やき人」として県から認定されます。

[問い合わせ・申込み先]

公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構

ふくしま結婚・子育て応援センター（福島県青少年会館内）

TEL 024-544-0070・0071

E-mail f.siawase-ouen@clock.ocn.ne.jp